

愛育病院に通院または入院された(通院または入院されている)患者さまへ

— 臨床研究の情報公開 —

2020年 4月 8日
医療法人菊郷会愛育病院 院長

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さまの記録などをまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究情報を公開し、研究の対象となることを拒否できる機会を保証することが必要とされております(研究対象患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることはいたしません)。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の[問い合わせ先]へご照会ください。

[研究課題名]

高リスク骨髄異形成症候群における **Azacitidine** 療法の奏功と末梢血 **WT1mRNA** 推移の関連性の検討

[研究機関・長の氏名]

医療法人菊郷会愛育病院 院長 岡本宗則

[研究責任者・所属]

医療法人菊郷会愛育病院 ・ 血液内科 小笠原 励起

[共同研究機関・研究責任者]

北海道大学病院

[研究の目的]

本研究は、骨髄異形成症候群の臨床的問題点の解析を目的としております。高リスク骨髄異形成症候群に対する有効な治療選択肢は限られており、一般的に Azacitidine 療法が導入されますが、その治療奏功を予想することは困難とされます。Azacitidine 療法開始早期の末梢血 WT1mRNA 値の推移と治療奏功との関連性を検討することで、恩恵を得られないままに治療継続せざるを得ない患者様を減らすことを目的とします。

[研究の方法]

下記の患者様情報を愛育病院血液病センターに設置した事務局に集約し集計、分析を行う。

○対象となる患者さま

2012年7月～2020年3月までに診断され当院にて初回治療として Azacitidine 療法を導入された骨髄異形成症候群の患者様。

○利用する情報

診療録(電子カルテ等)に記載のある患者背景データ(年齢、性別、身長・体重、疾患名ほか)、各種検査データ、その後の経過、転帰等。

[研究の期間]

病院長許可日 ～ 2022年3月31日(研究許可期間)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報につきましては、お名前、住所など、ご本人と直接同定できる個人情報は削除します。また、研究結果は学会や学術雑誌、データベース等で発表されますが、その際もご本人と特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市中央区南4条西25丁目2-1

医療法人菊郷会愛育病院 血液内科 担当医師 小笠原 励起

電話 011-563-2211 FAX 011-522-1691